

小4女子複 葦沢、石田(有彩)組、全国制覇を成す

都道府県対抗団体戦 女子初の3位

小5女子単 永井が2年連続の3位

女子団体戦の戦いぶりは、後から総括してみれば実に見事だった。監督、コーチは一戦、一戦のダブルスにハラハラ、ドキドキの毎日だったろう。

1回戦の立ち上がりのダブルスは、非常におぼつかなく1ゲーム、2ゲームともどちらに勝利の女神が微笑むか分からず1対1の展開に。最終ゲームも16オールの大接戦の展開で、以降準決勝まで2対1で勝ち続ける。この大活躍がベスト4入りを決めた要因だと思う。4入りは口で言うほど簡単でなく、改めて目前の試合の厳しさを思い知った。

(阿部筆)

25日 『団体戦』

- ・1回戦 新潟 3-0 京都
 栃本、目崎 2-1 中野、森田
 (小野 Jr)
 小菅 2-0 和田
 (阿賀野ジュニア)
 永井 2-0 田村
 (小野 Jr)
- ・2回戦 新潟 3-0 山口
 栃本、目崎 2-1 新田、岩永
 小菅 2-0 小川
 永井 2-0 筒井
- ・3回戦 新潟 2-0 神奈川
 栃本、目崎 2-1 犬井、朝河
 小菅 2-1 山口

26日

- ・準々決勝
 新潟 2-1 広島
 栃本、目崎 2-1 小田、内山
 永井 1-2 縄田
- ・準決勝
 新潟 0-2 岡山
 栃本 0 (15-21) 2 金田
 目崎 (20-22) 香山
- 永井 0 (15-21) 2 若林
 (8-21)

【ベンチ入り選手 長谷川ときわ 鷲尾夕夏】

【ベンチ入り指導者 小野和子 栗山 晃】

□固さが目立つ中で、複を制したのが大きかった。以降の単の戦いに好影響を与えた。

□複の1, 2ゲーム共ジュース。3ゲーム目の後半から、ネット前の攻めが功を奏す。単にも勇気が。

□またもや複は接戦。単1落ち着いたさば

□複の片一方が前年 全国制覇を経験。果敢に攻めて撃破 単1は流れをよせきれず敗戦。

単2それでも、小菅が奮闘し4入り。

□ここまでできたのは立派

『個人戦』

□小学生4年生以下 女子ダブルス

- ・1回戦 葦沢、石田(有彩) 2-0 堀口、藤本(熊本)
- ・2回戦 同 2-0 大貫、大垣(栃木)
- ・準々決勝 同 2-0 幸、福崎(大分)
- ・準決勝 同 2-0 江里口、田中(佐賀)
- ・決勝 同 2 (21-11) 0 曾根、福本
 (小野 Jr) (21-15) (大阪)



で□1回戦の出だしを切り抜けたのが全て。18本オールまで競ったが、ベンチもあわてなかった。優勝おめでとう。

- ・1回戦 佐野、石田(有彩) 1-2 佐藤、鈴木(埼玉)
 (小野 Jr)

□小学生6年生以下 女子ダブルス

- ・1回戦 目崎、栃本 2-1 北森、鶴下(熊本)
- ・2回戦 同 2-1 田中、佐藤(北北海道)
- ・準々決勝 同 1-2 可野、宮田(大阪)
- 連日の3ゲーム。頑張ったネ。5位の表彰状授与される
- ・1回戦 長谷川、鷲尾 2-1 黒木、吉本(熊本)
- ・2回戦 同 1-2 足利、保原(宮城)

□小学生4年生以下 女子シングルス

- ・1回戦 五十嵐 2-0 開発(南北海道)
- ・2回戦 同 2-0 福井(埼玉)
- ・準々決勝 同 0-2 吉川(香川)

□5位の表彰状授与される

□小学生5年生以下 女子シングルス

- ・1回戦 永井 2-0 山口(神奈川)
- ・2回戦 同 2-0 上田(福島)
- ・準々決勝 同 2-0 森本(熊本)
- ・準決勝 同 1 (18-21) 2 平野(香川)
 (21-16)
 (16-21)

□1ゲーム目に勝つチャンスあり、スピードと力強さを身につければチャンピオンは、これから頑張れ。

- ・1回戦 上杉 0-2 高橋(栃木)

□小学生6年生以下 女子シングルス

- ・1回戦 小菅 1-2 松山(福岡)